

## RESASを活用した政策立案ワークショップ（埼玉県川越市）

### 第3回 概要

令和5年3月

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

内閣府地方創生推進室

経済産業省関東経済産業局

埼玉県川越市にて、産業振興、地方創生及びEBPM推進に携わる職員を中心に、「地域経済分析システム（RESAS）」を活用した政策立案ワークショップを下記のとおり開催しました。

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社の大村 浩之氏の協力を得て、「川越市のさらなる地域経済循環のための企業立地施策の検討」を題材にしたワークショップを令和4年11月より3回にわたり開催しました。

市職員による分析発表や参加者の意見交換を通じて、川越市の今後の産業政策の企画・立案の在り方を検討しました。

### 記

#### 1. ワークショップ全体の概要

テーマ：さらなる地域経済循環のための企業立地施策の検討

➤ 日時、各回の内容、会場

#### **第1回（令和4年11月15日（火）開催）、川越市役所**

（1）川越市のけん引産業について

（2）主要けん引産業の状況について

#### **第2回（令和4年12月28日（水）開催）、関東経済産業局**

（1）SWOT分析を通じた、各けん引産業の特徴と目指すべき方法性について

#### **第3回（令和5年2月9日（木）開催）、川越市役所**

（1）第2回までの議論について

（2）実現したい姿（地域内経済循環の向上）について

➤ 主催：川越市

➤ 参加者：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

内閣府地方創生推進室

経済産業省関東経済産業局

## 2. 第3回ワークショップ概要

### 2.1. 参加者

- 川越市長、川越市副市長、川越市職員
- EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 大村 浩之氏
- 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局職員
- 経済産業省地域経済産業グループ地域経済産業調査室職員
- 経済産業省関東経済産業局地域振興課職員

### 2.2. 議事次第

- ① 有識者によるデータ分析と促進分野案
- ② 川越市によるRESAS等のデータ分析結果
- ③ 意見交換

## 3. 当日の発表及び質疑応答の概要

### 3.1. 有識者によるデータ分析と促進分野案（詳細は発表資料参照）

#### ➤ 今回のワークショップでの取り組み、論点整理

#### ① データ分析

地域循環の全体構造の把握した上で、地域をけん引する産業を特定。

#### ② 戦略策定

けん引産業の目指す方向性や施策を検討。

データ分析結果をもとに、内部環境×外部環境の強み、弱みを整理。

施策の検討に当たっては、以下3つの視点で支援策を検討。

- 企業を誘致する（中核企業の誘致、中核企業の付加価値を高める企業の誘致）
- 中核企業を育てる（外貨獲得のための販路開拓、DXによる生産性向上等）
- 企業の流出を防ぐ（工業用地の整備）

#### ③ 施策の立案

各産業の施策案を「施策実行の重要性」×「施策実現にかかる期間」で評価を行い、川越市が優先的に着手すべき施策を抽出。

### 3.2. 川越市によるRESAS等のデータ分析結果

（ワークショップを経て見えてきた現状の問題点、実現したい姿、産業全体の方向性）

- 第1回、第2回で絞り込みをした川越市のけん引産業について、具体的な施策を検討。
- 現状の問題点は、地域の経済循環がうまく機能していないこと。地域で稼いだ所得が域外へ流出しており、域内企業の新たな生産販売活動につながっていない。
- そのため、実現したい姿として、「地域経済循環の向上による経済全体の活性化」を掲げ、各

産業の特性に合わせた「企業立地の促進」「域外への販路開拓」「域内調達の増加」を目指す。

(各中核産業の方向性、取組内容)

- ① 化学工業（医薬品）：医薬品製造業のコンソーシアムの構築
  - ・ 域内企業の連携強化
  - ・ 製薬会社の新規誘致と新薬開発
  - ・ ベンチャー企業の受け入れ
- ② 化学工業（その他）：産学官連携強化による既存分野の充実と新分野の開拓
  - ・ 新規先端産業研究マッチング及び誘致
  - ・ 補修材産業の販路開拓を目的とした建設業のハブ度向上
- ③ 業務・生産用機械器具製造業：既存企業の育成、産業を超えた企業間連携強化
  - ・ 既存企業の域内設備投資促進、業務拡大（転換）
  - ・ DX推進による付加価値額・労働生産性の向上
  - ・ 「KOEDO E-PRO」認定制度による販路拡大やJETRO埼玉の活用による販路拡大
- ④ 食料品関連産業：既存企業の流出防止、域外販路拡大、DX等による効率化
  - ・ 地域の食品の域外への販路拡大
  - ・ オンラインによる取引拡大

### 3.3. 意見交換

- ・ 川越市は観光資源が豊富。このような強みを伸ばしていくことが重要。一方で、コロナ禍でも安定的な市の発展に向けて、企業誘致も重要。川越市は首都圏に近いので、土地代も高く、高付加価値の産業でないと立地が難しい状況もある。用地を必要としない高付加価値産業の誘致など、ターゲットを絞っていくことが重要。
- ・ 市内の工業団地も現状一杯で、農地転用のハードルが高いこともあり、工業用地が不足している。30年ほど前に立地した工場が手狭になって出ていくケースが相次ぐなど、川越市で生まれ育った企業が域外へ流出してしまっている。また、年間30～40件ほど立地の相談があるが、十分な用地の提供ができていない状況。
- ・ 今回のワークショップでは、データに基づき様々な分野・指標から、産業の絞り込み、具体的な施策の検討を行った。さらに、データに現れない地域の強みや特徴などについてもSWOT分析を行った。今回のワークショップでの経験を活かし、絞り込んだ産業以外にも分析していくべき。
- ・ 検討した施策について、今後どのように実施していくのか。官公庁や各種支援機関の施策を活用しながら進めたい。特に土地利用の調整において、地域未来投資促進法の活用を検討したい。今後は、関東経済産業局とも相談しながら、進めていきたい。

#### 4. 今後の方向性

- ワークショップで分析した結果をもとに、今後の施策を検討する。

以上